

使途の説明 見直し・使い切り体質の改善を！

予算は、県民・国民の大切な税金。 無駄なく、正しく使うのは、行政の責任。

言つまでもなく、県の予算のほとんどは、県民・国民の税金で成り立っています。6月議会では、経営破たんした「かずさアカデミアパーク」の債務保証などの補正予算案が提出され、外郭団体の不正経理の報告もありました。税金を無駄なく正しく使うことは、行政の責任であるはず。安易な使い方をただす気持ちで、常任委員会でも質疑を行いました。以下抜粋でご報告します。

かずさアカデミアパーク構想見直しを付帯決議

県の第三セクター「かずさアカデミアパーク」(現在民事再生手続中)の破たんによる県の損失は約60億円以上とされています。先の6月議会の補正予算にも、金融機関保有の県保障の債権を買い取る予算として、7億8千8百万円が計上されました。

また、再生に向け、新たなスポンサー候補から、事業計画書と出資額が提示され、その評価を株式会社かずさアカデミアパーク内の検討委員会が行っています。スポンサーの事業計画を鵜呑みにせず、例えばアクアラインが8000円でなくなった場合など、悪い条件下でも経営がなりたつのかという視点で、評価を行うことが重要と提言しました。



厳しい財政状況が続く中、こうしたつけを、税金で負担せざるを得なくなった事態を、当局は、しっかりと検証・総括し、同じ失敗を繰り返さないよう、再発防止につなげる責任があります。第三者機関による調査を行い、その結果を発表するよう、強く要望しました。

県議会報告



2010
夏

民主

【Profile】市立見明川小、見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月民主党公認で県議会に出馬し初当選。千葉県議会商工労働企業常任委員会委員。
<http://www.yazaki-kentaro.jp>

「産業振興センター」の不正経理を追及

昨年発覚した40億円にも上回る県の不正経理問題。今年2月議会で、民主党などが調査の3か月延長を求める発議をしましたが、最大会派の自民党の反対で否決となり、膿を出し切ることなく、中途半端に事態収拾が図られたと私は考えています。

6月議会の冒頭、県の外郭団体の16団体で、平成15年〜20年の間に、約7650万円の不正経理があった事実が公表され、その思いが新たにになりました。

私が所属している商工労働企業常任委員会の統括対象である「千葉県産業振興センター」の不正経理について、質疑しました。まず、不正経理は、いつから行われていたのか聞いたところ、「平成

15年からは把握しているが、それ以前は調査していない」ということ。また、それは、どのように引き継がれてきたのかも、どのような担当者がそれを行ってきたのかも、明確には調査されていない模様。不正経理が行われてきた一因として「補助金の使い切りがあったのではないか」という、表面上の分析に終わっているようです。補助金の使い切り、予算の使い切り、このお役所体質が、根本的な問題であるのは、周知の事実。使いきりの姿勢の見直しを含め、再発防止を強く求めました。

県立高校老朽化対策 予算増額補正

6月議会の補正予算に、県有建物の耐震化対策の新規事業に3億3千万円、県立高校の老朽化対策に3億5千万円の増額補正が盛り込まれました。

2月の予算委員会でも、県有建物の老朽化対策について質疑を行い、推進を強く求めておりましたので今回の補正で、それが盛り込まれたことに、確かな手ごたえを感じました。

民主

2010年(平成22年)夏
 発行人:民主党千葉県議会議員会

矢崎けんたろう事務所

〒279-0022 浦安市今川4-2-2-1 Tel.047-720-0929

千葉県議会ニュース



杉田守康県議

6月県議会

不正経理、不正繰越を質す

庁内チエツク体制の改善を求める

民主党からは、杉田守康県議が、代表質問に立った。ととなった場合には職員等において負担する。

不正経理対応の現状について

問 一部の業者プール金、回収不能に陥っている大きな要因は何か。

千葉県議会6月定例会が、5月28日に開会し、補正予算案15億5300万円など議案18件、報告2件を可決・承認し、6月22日に閉会した。

答(森田知事) 金額が多額なことや、最近の経営が芳しくないことな

答 県からの委託料や補助金と、各団体ごとの不適処理の内容や金額などとの関係を精査したうえで、判断したい。

特別養護老人ホームの整備について

問 県内の特別養護老人ホームへの入所希望者の状況と、今後の整備計画は。

答(坂本副知事) 希望者数は、今年1月現在で1万7千人。県では、補助単価の大幅引き上げなどにより、09年度から11年度までの3年間に、4、365床の整備を計画している。

一般質問



天野行雄県議

障がい者の雇用の拡大について

問 千葉県内の民間企業の障がい者の雇用の実績は。

答 県内の民間企業の障害者雇用率は、毎年着実に上昇しているものの、昨年6月1日現在で1・53%と、未だ法定雇用率(2・0%)に達していません。県独自に、未達成企業への



布施健太郎県議

更なる少人数学級の実現を

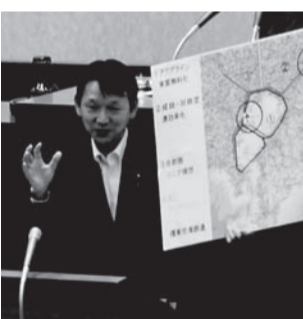
問 少人数学級と学力向上策の現状と今後の方向性は。

答 これまで小1、2学年、中1学年において36人学級

支援や雇用先の開拓等を行うとともに、障害のある人を積極的に雇用している事業所等を「フレンドリーオフィス」として認定するなどの取り組みを行っています。

編制を、その他においては38人学級編制を可能としてきた。本年度からは、小1学年において、35人学級編制を可能としました。

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、学力と家庭での学習習慣が深くかかわっていることが明らかになっていきます。各学校では、保護者面談等で、家庭学習の大切さを説明しているところで。



高橋浩県議

15才未満への給付福祉費の約4%

問 65歳以上の高齢者と15歳未満の子どもたちへの、国の社会保障の予算の違いはどうか。

答 07年度の厚生労働省の統計によると、社会保障給付費91兆4305億円のうち、年金や老人医療、介護サービスなどの高齢者関係給付費が63兆5654億円で全体の69・5%になります。一方、児童手当や保育等児童福祉サービス、出産関係給付など児童・家族関係給付費は3兆5613億円で3・9%になります。

県議会民主党所属議員



田中 明 (船橋市)



河野俊紀 (千葉市美浜区)



杉田守康 (市原市)



湯浅和子 (松戸市)



田中信行 (千葉市若葉区)



堀江はつ (船橋市)



竹内圭司 (千葉市緑区)



花崎広毅 (我孫子市)



高木 衛 (市原市)



岩井 覚 (八千代市)



横堀喜一郎 (茂原市)



天野行雄 (千葉市稲毛区)



遠藤英喜 (松戸市)



石井宏子 (君津市)



篠崎史範 (鎌ヶ谷市)



矢崎堅太郎 (浦安市)



布施健太郎 (習志野市)



高松健太郎 (柏市)



磯部裕和 (野田市)



高橋 浩 (木更津市)